十日町市教育委員会

文化財課　年報17

平成27年度（2015.4 ～ 2016.3）

十日町市教育委員会　文化財課

例　　言

１．本書は、十日町市教育委員会文化財課の平成27年度を中心とした活動記録である。
２．本書の構成は文化財課の業務を大まかにⅠ．運営、Ⅱ．指定文化財、Ⅲ．埋蔵文化財、Ⅳ．古文書等歴史資料整理事業、Ⅴ．歴史文化基本構想策定事業、Ⅵ．その他の６つに分類した。
３．本書の原稿は、文化財課職員がそれぞれ担当を決めて分担執筆し、末尾に担当者名を記した。
４．提出された原稿は、できるだけ原文を尊重した。ただし、用字・用語、内容、表記など執筆者の了解をえて編集者が修正した箇所がある。
５．本書の編集は石原正敏・南雲勝巳が担当した。
６．文化財の調査・保護活動から本書作成までに、教育委員、文化財保護審議会委員、指定文化財の所有者・管理者の各位をはじめ下記の団体、機関などからご支援・ご協力をいただいた。記して御礼申し上げる次第である。（順不同・敬称略）

ＮＰＯ笹山縄文の里　㈲アルケーリサーチ　㈱大石組　㈱大村建設　㈱茅葺屋根保存協会
㈱越乃かやぶき　㈱シン技術コンサル　（公社）十日町地域シルバー人材センター　㈱拓越
㈱タナベ防災　㈱十日町測量　苗場建設サービス㈱　㈲羽鳥建築　㈱ピコイ
㈲ペンタラボ　㈱宮内測量設計事務所　㈱ラング　十日町市博物館友の会　文化庁
新潟県教育庁文化行政課　新潟県十日町地域振興局　十日町市建設課・都市計画課・農林課

目　　次

Ⅰ．運営
　１．文化財保護行政の取組みと課題……1
　２．文化財保護審議会の経過……2
　３．予算と決算……3
Ⅱ．指定文化財
　１．新指定の文化財……4
　２．国・県・市指定文化財の保存と管理……5
　３．火焔の都整備事業……7
Ⅲ．埋蔵文化財
　１．発掘調査……8
　２．保存目的の範囲確認調査……9
　３．笹山遺跡学術調査（発掘）事業……10
　４．埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業……12
Ⅳ．古文書等歴史資料整理事業……15
Ⅴ．十日町市歴史文化基本構想策定事業……16
Ⅵ．その他
　１．資料館・収蔵庫等に関するデータ……17
資料
　１．十日町市の指定文化財一覧……19
　２．埋蔵文化財関係データ……22
　３．文化財関係者名簿……24

Ⅰ．運　営

１．文化財保護行政の取組みと課題

十日町市は平成17年４月に旧十日町市、川西町、中里村、松代町、松之山町の５つの市町村が合併し、今年で10周年を迎えた。この地域は古くから多様な文化を育み、それらが現在まで受け継がれている日本に誇れる文化の集積地域だと考えている。

十日町地域は、縄文前期から晩期までの多彩な縄文遺跡群に代表される縄文文化のほか、博物館建設場所では奈良時代から機織りに使う「ツム（紡錘車）」が発見され、中世の主産業である越後縮から現代の明石縮の織物文化、善光寺街道、節季市や鳥追いなどの民俗文化が多様に受継がれている。川西地域では、南北朝時代の板碑に代表される中世の文化の他、国重要文化財の星名家住宅をはじめとする多彩な建築様式や、瀬替えやバイトウなどの民俗文化。中里地域では、国の史跡名勝である七ツ釜や清津峡の他、現在では縄文時代の原点と言われる縄文草創期遺跡群が確認されるなど豊かな歴史に育まれた文化が受け継がれている。松代地域では機織り神の総本山、国指定重要文化財の松苧神社本殿や中世から近世における関東攻めの要路・古道松之山街道と城跡。松之山地域では青苧の苧積みにおける人間国宝を輩出し、700年以上の歴史を誇る旧村山家と坂口安吾との関わりなど、各地域其々に多様な文化が培われている。

その文化が大変危機的な状況になっていることを地域の人は認識しているのだろうか。単純に少子高齢化による地域の担い手がいなくなるという現象だけではない。祭りの神輿の担ぎ手やお寺の檀家もいなくなる。そうなることで地域に伝わる祭りの継承ができなくなり、さらにはお寺の維持などもさらに困難になり、先人たちの文化というものが途切れてしまうという由々しき事態に陥ってしまうのである。

また無形文化財や民俗文化財だけの話ではなく、建造物でも同様なことが起こってきている。由緒ある登録有形文化財や近代和風建築物も関係者がこの地域にいなくなるということで、冬の維持管理上の問題も含めて、泣く泣く「滅失」しなければならない事案が発生していることも事実である。

そのような状況の中で、十日町市は今「十日町市歴史文化基本構想」を平成27年から平成29年度にかけて纏めようとしている。この歴史文化基本構想とは「地域の財（たから）」を指定、無指定に拘らず構想に取り入れて保存・活用を目指す取り組みである。

平成27年は第６回の大地の芸術祭の大祭年であったが、この影響か地域外の人が多数小さな集落を訪れ、地域文化に触れることで多くの称賛を与えてくれた。合わせて地域の人たちは、地域の素晴らしさを語りだし、もっと地域の良さを知ってもらおうと活動しはじめ「各地域のアイデンティティを確立し地域の良さを発信したい」という機運が高まってきた。

さらに十日町市は合併後10年を経過したが、旧市町村史はそれぞれ作成されているが、新十日町市としての文化をまとめたものが存在しないこともあり、この「文化財のマスタープラン」である歴史文化基本構想を今年から作成しはじめたのである。

同時に、平成32年の東京オリンピック・パラリンピックに合わせ「新十日町市博物館」を作る計画も動き始めており、博物館の展示にも地域の素晴らしさを盛り込み調査結果を反映させたいと考えている。また現在文化庁では、この多様な文化を東京オリンピック・パラリンピックで訪れる2000万人ともいわれる外国の人に発信し地域創生の起爆剤とするべく「日本遺産」の認定制度も開始されている。この日本遺産認定にも歴史文化基本構想の策定は必須条件である。

十日町市としては、今の時期に歴史文化基本構想を策定し多様な文化を再認識することで、「地域の財（たから）」を磨き上げ、地域文化財をさらに活用し、地域活性化を目指して行きたいと考えている。

（佐野　誠市）

２．文化財保護審議会の経過

○第１回８月11日㈫　13:30～15:30　会場：博物館会議室

【出席者】委員：武田正史、宮澤孝美、庭野政義、竹内俊道、星名寔、村山詔平、相沢一郎　７名
事務局：佐野課長、石原課長補佐、菅沼係長、南雲係長

【内　容】文化財保護審議会委員の改選があり、現委員10名を教育委員会が再委嘱（任期：平成27年４月１日から平成29年３月31日まで）した。十日町市文化財保護条例35条に基づく委員の互選により武田委員が会長、会長の指名により宮澤委員が職務代理者と決定した。事務局から平成27年度文化財課事業の進捗状況、指定文化財の現状変更等（田代の七ツ釜の法面保護工事、大井田城跡の樹木伐採・剪定、太田島小牧社の大ケヤキの枝剪定・防腐処理）及び新十日町市博物館基本計画策定状況について報告後、平成27年度の市指定文化財候補物件について審議し、「大棟山美術博物館（旧村山家住宅）」及び「樽沢開田遺跡出土品」を候補とすることに決定した。

○第２回10月７日㈬　13:30～16:20　会場：大棟山美術博物館、松之山公民館大会議室

【出席者】委員：武田正史、宮澤孝美、竹内俊道、川村知行、井上信夫、星名寔、村山詔平、山本善平、相沢一郎　９名
事務局：佐野課長、石原課長補佐、菅沼係長、南雲係長

【内　容】本年度の市指定文化財候補物件である大棟山美術博物館において、現地調査を実施した。その後、会議室で「大棟山美術博物館（旧村山家住宅）」を審議した結果、主屋・表門・庭に分けた、調査報告書の作成が必要との意見が出された。また、「樽沢開田遺跡出土品」は、次回審議会で検討することを確認した。

○第３回平成28年１月18日㈪　13:30～15:30　会場：博物館会議室

【出席者】委員：武田正史、宮澤孝美、庭野政義、竹内俊道、井上信夫、星名寔、村山詔平、山本善平、相沢一郎　9名
事務局：佐野課長、石原課長補佐、菅沼係長、南雲係長

【内　容】事務局から平成27年度文化財関連事業について状況報告を行った。市が調査を委託した富井冨士子建築事務所がまとめた「大棟山美術博物館調査報告書」に基づき富井氏から説明を受け、併せて「樽沢開田遺跡出土品」の実物品を確認後、「旧村山家主屋・表門」及び「樽沢開田遺跡出土品」の市指定文化財答申について審議した。

○第４回３月４日㈮　13:30～15:15　会場：博物館集会室

【出席者】委員：武田正史、宮澤孝美、庭野政義、竹内俊道、星名寔、村山詔平、相沢一郎　７名
事務局：佐野課長、石原課長補佐、菅沼係長、南雲係長

【内　容】十日町市指定文化財「旧村山家主屋・表門　２棟」及び「樽沢開田遺跡出土品　98点」を指定答申することを決定し、続けて武田委員長が蔵品教育長に答申書を手渡した。一部報道機関に公開し、その後、平成28年度の文化財事業に関する意見交換を行った。

（南雲 勝巳）

３．予算と決算

平成27年度の予算は、当初予算が前年に比べ21.3%マイナスの95,185千円となった。しかし、12月補正で1,444千円の増、３月補正で13,210千円の増となり、補正後予算額は109,839千円となっている。予算内容は大別すると⑴一般経費（2,954千円）、⑵古文書等歴史資料整理事業・歴史文化基本構想策定事業関係経費（4,052千円）、⑶文化財保護調査事業関係経費（4,068千円）、⑷埋蔵文化財関係経費（52,663千円）、⑸火焔の都整備事業関係経費（42,500千円）、⑹資料館等維持管理経費（3,602千円）からなる。このうち、⑷埋蔵文化財関係経費17,020千円、⑸火焔の都整備事業関係経費6,053千円が平成28年度に明許繰越される予定である。

⑴は文化財保護審議会関係経費、嘱託職員報酬、⑵は古文書等歴史資料整理事業費、嘱託職員報酬、⑶は文化財指定に係る調査、指定文化財管理手数料、補助金、⑷は遺跡調査・遺物整理事業費、埋蔵文化財等報告書作成事業費、⑸は火焔の都整備に向けた土地購入、公園整備及び関連ソフト事業費、笹山遺跡学術調査事業費、⑹は資料館等の管理経費、除排雪経費、車両関係経費などである。（矢口ヨネ子）

☆平成27年度通常予算

歳入予算（決算見込）　（単位：千円）　※3月3日現在

款　項　目					
節	説　明	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算見込額
13款　使用料及び手数料　１項	使用料　７目　教育使用料				
６．民俗資料館入館料	20．松之山郷民俗資料館入館料	100	0	100	82
14款　国庫支出金　２項	国庫補助金　５目　教育費国庫補助金				
４．社会教育費補助金	25．遺跡調査遺物整理補助金	1,500	0	1,500	1,500
15款　県支出金　２項	県補助金　１目　総務費県補助金				
１．合併特別交付金	05．新潟県合併特別交付金	17,000	0	17,000	17,000
15款　県支出金　２項	県補助金　８目　教育費県補助金				
１．文化財費県補助金	20．遺跡調査遺物整理補助金	375	0	375	330
15款　県支出金　３項	委託金　５目　教育費委託金				
２．埋蔵文化財調査委託金	５．埋蔵文化財調査委託金	11,000	16,000	27,000	10,000
	15．県営中山間地域総合整備事業遺跡発掘調査委託金	10,925	△ 2,280	8,645	8,645
20款　諸収入　５項	雑入　２目　雑入				
７．消防雑入	15．デジタル消防無線中継局建設発掘調査受託収入	6,000	0	0	6,000

歳出予算（決算見込）　（単位：千円、千円未満切り上げ）　※3月25日現在

節	説　明	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算見込額
１．報　酬	文化財保護審議会委員・文化財調査研究員	2,880	944	3,824	3,779
２．給　料	一般職	100	0	100	100
７．賃　金	発掘調査遺物整理作業員・調査整理補助員 中里文化財資料収蔵庫維持管理作業員 文化財保護作業員ほか	17,151	2,369	19,520	11,932
８．報償費	講師謝礼・指導者謝礼ほか	2,520	△ 547	1,973	1,195
９．旅　費	費用弁償・普通旅費	257	0	257	337
11．需用費	消耗品費・燃料費・印刷製本費 修繕料・光熱水費	11,619	△ 390	11,229	8,511
12．役務費	通信運搬費・手数料・保険料	1,627	0	1,627	1,724
13．委託料	遺跡発掘作業委託・遺物整理作業 遺跡調査管理支援・地形等測量 遺物実測作業・土器復元作業 施設等管理・除雪委託	47,820	12,278	60,098	50,029
14．使用料ほか	借地料・発掘用重機賃貸料・圧雪重機賃貸料ほか	1,096	0	1,096	1,002
16．原材料費	遺構保存用原材料	10	0	10	0
17．公有財産購入費	土地購入費	6,460	0	6,460	0
18．備品購入費		991	0	991	854
19．負担金ほか	指定文化財保存管理補助金 文化財保存修理補助金・文化財保存事業費補助金 信濃川火焔街道連携協議会負担金	1,995	0	1,995	1,683
22．補償金ほか	立木補償料	640	0	640	0
27．公課費	自動車重量税	19	0	19	19
合　計		95,185	14,654	109,839	81,165

Ⅱ．指定文化財

１．新指定の文化財

平成27年度は旧村山家主屋・表門２棟及び樽沢開田遺跡出土品98点の２件について、十日町市教育委員会から十日町市文化財保護審議会（会長：武田正史）に平成28年２月25日に諮問がなされ、平成28年３月４日に十日町市教育委員会に答申が行われた。

写真１　3月4日 第4回文化財保護審議会での答申

⑴ 十日町市指定文化財　建造物

①種別・名称：有形文化財　建造物　旧村山家主屋・表門（建５）

②員数：２棟

③指定年月日：平成28年３月28日

④所在地：十日町市松之山1222番地ほか

⑤所有者・管理者：一般財団法人　大棟山美術博物館

⑥指定理由：村山家は700年以上の歴史を有し、松之山地域を代表する旧家で、主屋は、現在大棟山美術博物館として公開している。200余年の風雪に耐えた木造二階建ての主屋は、欅の一枚板の廊下、各種の格天井や襖絵の和室、箱階段や造り酒屋の跡を偲ばせる茶の間から広い三和土（たたき）など、近代和風建築の粋を集めた建物である。当地域の特別な農家建築として、歴史的な価値は高い。

表門は、大正９（1920）年と建築年は比較的新しいが、材料はよく吟味され、様式建築としての手法が整っている。

⑦現状：平成５年より博物館法による登録博物館として一般に公開している。

写真２　旧村山家主屋（大棟山美術博物館）

写真３　表門

⑵ 十日町市指定文化財　考古資料

①種別・名称：有形文化財　考古資料　樽沢開田遺跡出土品（考古23）

②員数：98点

③指定年月日：平成28年３月28日

④所在地：十日町市寅甲乙382番地1（十日町市博物館）

⑤所有者・管理者：十日町市（博物館）

⑥指定理由：樽沢開田遺跡は、新潟県を代表する縄文時代後・晩期の集落跡である。発掘調査においては、石組炉２基、焼土31基、土坑10基、立石配石遺構１基、配石遺構６基、埋設　土器９基、ピット類などが検出され、立石配石遺構は長さ６ｍを超える新潟県内最大級の大きさである。集落北側の土器捨て場からは土器・土製品、石器・石製品など多量の遺物が出土している。

中でも後期後葉～晩期前葉の土器・土製品がまとまっており、新潟県内における当該期の土器・土製品研究の基準資料となっている。縄文時代における当地方と東北地方、関東地方、北陸地方をはじめとする他地域との文化的交流を解明するうえで重要な資料であり、資料的価値が極めて高い。

写真４　樽沢開田遺跡出土品の一部　土器集合

写真５　樽沢開田遺跡出土品の一部　注口土器

写真６　樽沢開田遺跡出土品の一部　耳飾り

写真７　樽沢開田遺跡出土品の一部　土偶

２．国・県・市指定文化財の保存と管理

⑴ 指定文化財件数

・国宝１件、国指定重要文化財６件、国登録有形文化財９件、国指定特別天然記念物１件、県指定文化財11件、市指定文化財111件、市指定地域文化財26件　（3／28現在）

⑵ 文化財保存事業（補助金・手数料）

①国・県・市指定文化財の管理・保存のため、維持管理・保存費用として所有者（管理者）に対して補助金を交付。

○国指定文化財維持管理補助金（執行額未定）

・松苧神社本殿　　雪囲い・雪囲い外し

・星名家住宅　　雪囲い・雪囲い外し・消火設備点検

○市指定文化財管理補助金

・市指定文化財管理補助金　14件（140,000円執行予定）

補助対象は、無形民俗文化財のうち伝承に係る内容のものを原則。

②県・市指定文化財（屋外管理文化財）に対しその管理等のため管理手数料を助成。

○市指定文化財管理手数料（執行額未定）

・指定文化財40件（市指定37件　県指定３件）

③県・市指定文化財の標柱作成（新設分、劣化により取替分）

○作成本数　５本

天水山麓のブナ原生林、大荒戸の庚申夫婦スギ、小谷の大ケヤキ、小貫諏訪社の大スギ、角間のねじりスギ

⑶ その他

①文化財防火デー

平成28年２月１日㈪に国指定重要文化財星名家住宅（上野地内）及び十日町市博物館（西本町１地内）において防災訓練を行った。文化財を火災､震災その他の災害から守ることを目的としている。内容等は以下のとおり。

・星名家住宅

実施日：平成28年２月１日㈪　10:00～

内　容：「通報訓練」「貴重品の搬出訓練」「放水訓練」「消火訓練」

協　力：星名家、十日町地域消防署西分署、川西支所地域振興課、タナベ防災㈱

・十日町市博物館

実施日：平成28年２月１日㈪　14:00～

内　容：「通報訓練」「国宝・重要文化財搬出作業」「放水訓練」「消火訓練」
「避難誘導訓練」「ハシゴ車による救出訓練」

協　力：十日町地域消防本部、タナベ防災㈱

②特別天然記念物のカモシカ遺体処理

平成27年度中９件９頭のカモシカの滅失処理を実施した。実施日、発見場所は以下の通り。

4/20 樽沢（十日町）、5/8 蓬平（松代）、5/11 伊達（十日町）、5/18 田沢本村（中里）、10/9 野中（十日町）、10/5 東田沢（中里）、10/5 学校町（十日町）、2/29 室島（川西）、3/16　八箇（十日町）

③ニホンジカの遺体処理

遺体発見がなかったため遺体処理は実施していない。

④銃砲刀剣類等登録取扱い

登録等取扱いに関する事務はなかった。

（大滝 孝子）

３．火焔の都整備事業

火焔の都整備事業は、平成11年に笹山遺跡出土品が新潟県初の国宝に指定されたことを機に、出土地である笹山遺跡を中心とした地域を「火焔の都」として、その保護及び交流・体験の場の創出による活用を図ろうとする「火焔の都計画」が提案されたことに端を発している。平成14年には、その具体的実現を目指し「国宝館・火焔の都整備事業基本計画」が立案されるが、財政事情等から具体的な進捗をみることなく経過していた。市町村合併後の平成19年度より事業名を「国宝館・火焔の都整備事業」から「火焔の都整備事業」に改め、さらに平成20年度からは国宝が新市住民の共有財産であることに立脚し、新市としての一体感を醸成するため、本事業は合併特例債適用事業として取り組むことになった。国宝館については当面、諸条件が整うまで凍結するものとし、事業の進捗に当たっては、中条地区振興会を窓口に地元との協働作業を基本的スタンスとし、事業をすすめてきた。

平成27年度も引続き事業計画用地取得を中心に取組んだ。代替地等の問題もあり、計画地の土地買収は思うように進捗していないが、地権者・関係者の同意を得て、早期に買収が完了できるよう引続き努力していかなければならない。一方で、同年８月から平成28年３月まで、地元との協働作業により新たな基本計画の策定に取り組んだ。具体的には、①平成14年に策定された基本計画の見直し及び意見集約、②先進地視察、③計画書作成などについて中条地区振興会に業務委託した。

今後は、新たな基本計画に基づき、「笹山遺跡が見る、感じる、触れるなど出土遺跡ならではの活動」がより活発に展開できるよう、事業の進捗に努めていかなければならない。　（石原 正敏）

年　度		金 額（円）		備　考
平成20年度	笹山遺跡ガイダンス施設給排水衛生設備等改修工事	3,739,050	㈲技工住設	
	事業計画区域用地測量業務委託	1,890,000	㈱十日町測量	
平成21年度	笹山遺跡広場整備第１次工事	1,281,000	㈲福島土木	
	笹山遺跡広場芝張工事	1,292,550	㈱恒樹園新潟	
	笹山遺跡広場整備第２次工事	1,186,500	NPO法人 笹山縄文の里	
	笹山遺跡広場芝張第２次工事	409,000	NPO法人 笹山縄文の里	
	笹山縄文館における展示物の作成及び設計委託	415,800	NPO法人 笹山縄文の里	
	笹山遺跡広場竪穴式住居実施設計委託	315,000	NPO法人 笹山縄文の里	
	事業計画区域用地測量業務委託	1,407,000	㈱十日町測量	
	事業計画用地取得	9,573,661		6,185.49㎡
	補償（物件移転及び立木売買）	51,996		
	笹山遺跡サイン修繕工事	1,769,250	田順アート・㈱谷内製材	
平成22年度	笹山遺跡広場竪穴式住居設置委託	3,454,500	NPO法人 笹山縄文の里	
	竪穴式住居屋根被覆シート及び入口扉製作委託	252,000	NPO法人 笹山縄文の里	
	事業計画区域用地測量業務委託	1,890,000	㈱十日町測量	
平成23年度	笹山遺跡広場竪穴式住居実施設計委託	294,000	NPO法人 笹山縄文の里	
	笹山遺跡広場整備（竪穴式住居盛土）工事	276,150	NPO法人 笹山縄文の里	
	笹山遺跡広場竪穴式住居設置委託	4,466,700	NPO法人 笹山縄文の里	
	笹山縄文館改修工事	1,260,000	㈲技工住設	
	笹山縄文館外壁改修工事	3,496,500	㈱谷内製材	
	笹山縄文館外壁設計・改修委託	493,500	NPO法人 笹山縄文の里	
平成24年度	笹山給排水設備移転改修工事設計委託	484,050	SOメンテナンス	
	笹山給排水設備移転改修工事	7,518,000	㈱拓越	
	笹山縄文館電灯引込口変更工事	327,600	㈱後藤電気	
	笹山縄文館改修工事	656,040	南雲木工所	
	事業計画用地取得	5,001,860		3,144.87㎡
	補償（物件移転及び立木売買）	695,563		
平成25年度	事業計画用地取得	1,549,329		911.37㎡
平成26年度	事業計画用地取得	1,596,912		939.36㎡
	補償（立木売買）	324,756		
平成27年度	事業計画用地取得	970,479		570.87㎡
	火焔の都整備事業基本計画策定業務	300,000		

第２表　火焔の都整備事業における主な事業（平成20～27年度）

Ⅲ．埋蔵文化財

１．発掘調査

平成27年度の発掘調査の内訳は、本調査１件、確認調査３件、試掘調査13件である。調査原因は本調査が県道改良、確認調査が高齢者福祉施設建設や鉄塔建替え事業、駐車場整備事業などである。試掘調査は市営住宅建設事業や文化施設建設事業、市道改良、県営中山間地域総合整備事業や経営体育成基盤整備事業、防火水槽建設事業などの公共事業、土砂採取事業や農業施設建設事業などの民間開発事業である。

以下に平成27年度に行った主要な調査の概要をまとめるが、確認調査と試掘調査の詳細については『平成27年度十日町市内遺跡試掘・確認調査概要報告書』を参照願いたい。

本調査・確認調査

⑴ 貝野沖遺跡（本屋敷地内）

貝野沖遺跡は、貝野郵便局から北へ約400m、市立貝野小学校から東へ約100m、信濃川左岸段丘上を流れる下沢川左岸の北側台地上に位置している。下沢川右岸には平成22年～平成26年の５ヵ年にわたり本発掘調査が実施され、縄文時代草創期の石槍製作址が発見された貝野沢田遺跡がある。調査範囲中央には下沢川の旧流路と考えられる沢状地形が形成されている。標高は約187m～192m、信濃川の現河床面との比高差は約35m～40mで現況は畑地である。

調査は、主要地方道小千谷十日町津南線　防災・安全社会資本整備交付金事業に伴い実施した。平成21年度に本発掘調査を実施した範囲（第１次調査）の北側隣接地で、調査は平成27年６月25日～10月23日まで実施し、調査面積は1,000㎡である。平成26年度に市道本屋敷稲荷林線改良工事に伴う本発掘調査を実施し（第２次調査）、今回の調査は第３次調査である。

調査の結果、人為的な遺構は集石１基が発見されたが、土器や石器が共伴していないため詳細時期は不明である。発掘調査で出土した遺物は、縄文土器、石器などの遺物が整理用コンテナ（40×60×20㎝）で約20箱である。土器はその形や文様の特徴から、縄文時代早期末葉～前期初頭の繊維を胎土に含む厚手の羽状縄文系土器、中期中葉の大木８ｂ式土器、器面に条痕調整が入り帰属時期を検討中の土器などである。出土地点がそれぞれ異なることから、各時期によって滞在する場所の選定が行われていたと推定される。石器は石鏃や石匙、打製石斧、磨製石斧、剥片、石核などである。石鏃は頁岩製の特徴的な二等辺三角形を呈したものが３点、石匙は玉髄製で縦形を呈したものが１点で、早期末葉～前期初頭に帰属する資料と考えられる。石鏃の１点は先端に衝撃剥離による痕跡が残されている。今後、整理作業を進める中で、様々な角度から検討が必要である。

写真８　貝野沖遺跡　作業風景（北東から）

写真９　貝野沖遺跡　出土遺物

⑵ 一里塚遺跡（荒屋地内）

一里塚遺跡は信濃川と清津川合流点から東へ約400m、JR飯山線の越後田沢駅から南西へ約800mの清津川右岸段丘上に位置している。標高は約210m、清津川の現河床面との比高差は約31mで、現況は山林・工場跡地である。遺跡は新潟県教育委員会が昭和33年に刊行した新潟県文化財年報第３集『妻有郷』に記載があることから、発見された時期はそれ以前と考えられるが、発見の経緯等の詳細は不明である。遺跡は大きくＡ・Ｂ・Ｃ地点の３箇所に分けられるが、そのうちのＢ地点は昭和56年に圃場整備で削平され、昭和63年には文化財保護指導員の調査により、遺跡範囲は拡張されている。平成２年にＡ地点付近で旧中里村共同墓地建設に伴う本発掘調査が実施されているが、調査報告書が刊行されていないため詳細は不明である。

調査は、高齢者福祉施設建設に伴い確認調査を実施した。開発範囲のほとんどは工場跡地で大きく削平･掘削されていたため、遺跡は残存していない可能性は高かったが、隣接地との境界にある木の伐採･抜根を行う範囲は自然の地形が残されていると考えられたことから､その範囲を中心に調査を実施した。調査は平成27年６月17日～８月10日まで実施し、調査面積は44㎡である。

調査の結果、焼土と集石が１基ずつ発見されたが、両遺構とも共伴する遺物が確認されなかったことから、詳細な帰属時期は不明である。調査で出土した遺物は、縄文時代草創期に帰属する多縄文系土器の破片が15点、その他時期の土器10点、石鏃１点を含む石器30点が出土している。しかし、このうちの多くが倒木痕に絡んで出土したため原位置を示していない出土状況ではあるが、客土として外部から持ち込まれた土壌ではないことから、調査範囲近隣に遺物包含範囲があることが推測される。

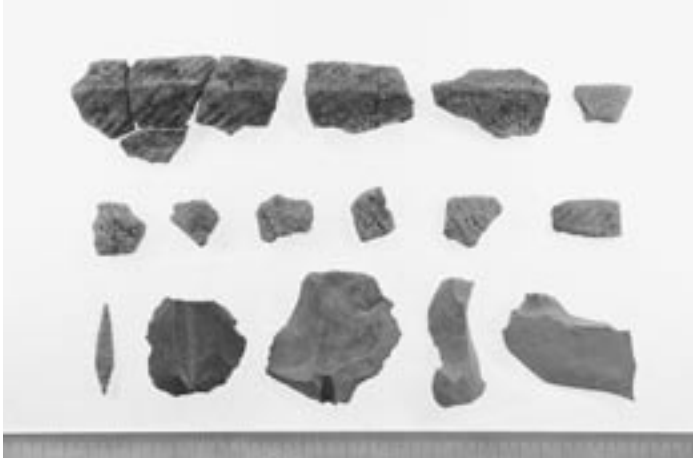


写真10　一里塚遺跡　出土遺物

２．保存目的の範囲確認調査

この調査は、平成20年度から津南町と十日町市で保存計画を進めている縄文時代草創期遺跡群に伴う田沢遺跡範囲確認調査で、今年度は第８次調査である。調査に至る経緯や第１次調査～第６次調査の詳細については､平成24年３月刊行の『十日町市教育委員会　文化財課年報14』と平成26年３月刊行の『十日町市教育委員会　文化財課年報15』を参照願いたい。

第８次調査は、平成27年12月７日～12月15日まで行い、調査面積は15㎡（７・11・12トレンチ）である。調査目的は、田沢遺跡の東側範囲の広がりの確認と新たな遺物包含範囲の探求、堆積土層および微地形の確認を目的として調査を行った。

調査の結果、７トレンチは第５次調査で終了しなかった堆積土層の確認を行うため、トレンチの北側と南側を段丘礫層まで掘削･精査した。その結果、北側で礫層直上の黄褐色シルトから石槍破片が１点、砂層にパックされる形で出土した。11トレンチは南側が自然堤防の高まりで、北側の滞水域に向かって傾斜していることが確認された。出土遺物は耕作土の中から多くの石器破片が出土したが、自然堆積土中からは礫層直上の黄褐色シルトから原礫面を残す石刃１点が出土したのみである。12トレンチは耕作土の下に厚く黒色土が残存し、焼土が広範囲で確認された。出土遺物は石器のみで、遺構の詳細な帰属時期は不明である。

平成28年度は追加調査及び残務作業を行い、本格的な整理作業を開始予定である。　　（笠井 洋祐）

３．笹山遺跡学術調査（発掘）事業

⑴ 経緯と現状

笹山遺跡は信濃川右岸段丘上の標高170～180mに位置し、段丘編年上では完新世の沖積段丘である根深面上に立地する。遺跡は1980～1985年度（昭和55～60年度）に市営陸上競技場、笹山野球場、市道笹山線、市民スポーツハウス等の建設に伴って１～７次の本調査が実施され（十日町市教育委員会編1998）、また、2002～2004年度（平成14～16年度）にかけて範囲確認調査が実施された（十日町市教育委員会編2005）。2011～2013年度（平成23～25年度）は国宝出土地・笹山遺跡学術調査（発掘）事業のもと８～10次調査を実施し、続く2014・2015年度（平成26・27年度）は整理分析を実施してきた。今年度は調査報告書の刊行年度である。

本事業ではまた、遺跡および出土資料を活用した地域振興等にも取り組んでいる。今年度は笹山じょうもん市2015において笹山遺跡出土品展示会、夏休み親子自由研究サポート、十日町雪まつり2016期間に於ける笹山遺跡出土品展示会（「JOMON×ORIMONO展」）、ささやまラボ2016を実施した。また、昨年に引き続き文化遺産カードの配布を行った。さらに新たに笹山遺跡ボランティアを継続し、種々の活動を行った。

⑵ 出土品整理・分析の経過

昨年度に引き続き遺物図作成を実施しながら、遺構図編集、属性表作成、報告書編集などを実施した。分析に関しては、外部へ依頼して蛍光Ｘ線分析のよる黒曜石の産地推定、土器胎土・未焼成土器・ベンガラ塊の分析、遺構出土炭化材・種実の放射性炭素年代測定、土器付着炭化物の同位体分析、遺構の考古学的考察を行っていただき、玉稿を賜った。黒曜石のほとんどは信州産との結果だった。未焼成土器は器形そのものも小形で特殊だったが、胎土も通常とは異なっていた。ベンガラ塊は自然石であることがわかったが、その搬入について新たな課題を提起した。年代測定では竪穴住居跡に伴う炉跡の年代が中期後葉・末葉に当たる可能性が指摘された。住居跡と炉跡の考古学的考察では栃倉式古段階の住居と同新段階の住居とがあることが指摘された。この結果は炉跡出土炭化材の年代測定結果と補い合う関係にある。

⑶ 調査成果等の活用

以下のとおりである。

・笹山遺跡出土品展示会・園児たちのじょうもん塗り絵展覧会
　６月７日㈰
　来場者：100名（チラシ減数）　協力：笹山遺跡ボランティア（写真11）

・笹山縄文カレッジ　夏休み親子自由研究サポート「縄文土器をつくろう！」
　７月26日㈰・８月９日㈰
　参加者：20名（親子合計）　協力：笹山遺跡ボランティア
　親子で２日間参加の企画。１日目は自由研究のまとめ方に関する講義学習、土器成形、２日目は１日目以後２週間の土器乾燥後に土器焼成から研究のまとめを行った。

・JOMON×ORIMONO展
　２月19日㈯・20日㈰
　入場者：167名（２日間計）　協力：笹山遺跡ボランティア、中条地区振興会
　笹山縄文館３階にて開催した出土土器のミニ展示会。来場者に土器を持たせ、縄文服を着せて撮影するサービスを実施した（写真12）。

・笹山縄文カレッジ　ささやまラボ2016

２月６日㈯、３月12日㈯

参加者：１回目10名、２回目７名　講師：佐藤幸子・皆川直樹、協力：笹山遺跡ボランティア

一般参加の出土品整理体験（拓本・接合作業）である。今回はお楽しみ企画として「火焔型土器チョコ」をつくる体験（持ち帰り可能）も加えた。

・笹山遺跡ボランティア

４月１日～９月30日（第３期）：会員10名　活動人数延べ194人・日

10月１日～３月31日（第４期）：会員11名　活動人数延べ198人・日

主として平成23～25年度発掘の出土品整理･分析を行い、ほかに遺跡来訪者へのガイド、展示補助、笹山縄文カレッジ補助を行った。また笹山遺跡の発掘調査でアズキ類の種実が出土したことから、現生種で半栽培実験を行った。今年度は自主事業として、笹山じょうもん市でブース開設し、土偶消しゴム、プラ板作り、火焔まんじう・とさかまんじうの販売を行った。

・文化遺産カード

12種類を発行し、平成24年度４月１日から平成28年２月29日現在までに2,228枚を配布した。

⑷ 笹山遺跡保存整備検討委員会

第12回会議：７月３日、第13回会議：11月６日、第14回会議：３月１日

本事業の全体方針および学術調査方針はこの会議で提示される意見を参考に決定されている。委員は赤塚次郎（愛知県教育・スポーツ振興財団）、阿部芳郎（明治大学）、小熊博史（長岡市教育委員会）、福島徳治（福島砂利生コン）、山本哲也（新潟県立歴史博物館）各氏で、27年度からはオブザーバーとして滝澤規朗氏（新潟県教育庁）を迎えている。

（阿部 敬）

写真11　笹山じょうもん市

写真12　雪まつり

４．埋蔵文化財発掘調査報告書作成事業

本事業では、平成８年に調査された野首遺跡（市内上新田地内）の遺物整理作業を継続して行っている。遺跡は縄文時代中～後期の大規模環状集落で、土器捨て場より大量の遺物が出土した。平成22年度には、第１分冊の『野首遺跡発掘調査報告書Ⅰ』〈遺構編〉が刊行されている。土器の出土量が膨大なため、遺物編は２冊に分け、平成28年度に第２分冊〈遺物編１〉（中期の土器･土製品／中･後期の石器･石製品）を刊行の予定である。

今年度も業者委託による遺物の図化作業を中心に進め、土偶・三角形土版などの土製品類153点、土器272点、磨石類60点の図化作業を行った。これにより、上述した第２分冊・遺物編１に掲載する遺物実測図の作成は今年度で終了している。また、これと並行して、第３分冊・遺物編２（後期の土器）の平成30年度刊行に向けて、臨時職員により後期土器の抽出作業と断面実測を行った。

第２分冊・遺物編１の目次構成（案）は、以下のとおりである。頁数は本文110頁、遺物観察表50頁、遺物図面図版100頁、遺物写真図版100頁の計360頁程度を予定している。

第Ⅰ章　遺物整理の概要　　１.発掘調査の概要　　２.遺物整理の経過と体制　　３.遺物整理の方法
第Ⅱ章　土器・土製品　　１.土　器　　２.土製品
第Ⅲ章　石器・石製品　　１.石　器　　２.石製品
第Ⅳ章　理化学的分析　　外部の研究者４人に依頼予定
第Ⅴ章　ま　と　め　　１.土　器　　２.石　器
遺物観察表・図面図版・写真図版

最期に、整理作業の中で専門家より指導を受けている。石器の石材鑑定については中村由克氏、中期の土器について布尾和史氏（北塩原村教育委員会）に指導をお願いした。　　（菅沼 亘）

写真13　野首遺跡の中期土器

◆その他の整理調査事業について

平成17年４月の合併後の十日町市では、県営ほ場整備事業、国・県道改良事業、市関連事業などに伴って、記録保存のための発掘調査を数多く実施してきている（第８表、第９表）。発掘調査は調査報告書の刊行をもって完了となる。発掘調査を行うにあたっては、その後の整理調査（調査報告書の印刷・製本を含む）についても、期間、経費、報告書の体裁等を含め、事業者と協議を重ねる必要がある。しかし、事業計画は度々変更になる場合が多く、適宜見直しを求められているのが現状である。

平成27年度は橋詰居村遺跡、上屋敷･溝遺跡、干溝東遺跡ほか２遺跡、おざか清水遺跡、白羽毛遺跡、清津宮峯遺跡、貝野沢田遺跡、天尾山城跡の８事業について整理調査を実施した。整理調査の概要は下記のとおりである。遺物の水洗・注記・分類・抽出・計測などの作業を行ったほか、遺物遺構図のトレース・編集、遺物の実測・写真撮影等は専門業者に業務の一部を委託した。　（石原 正敏・笠井 洋祐）

⑴ 明許繰越分

①橋詰居村遺跡

地　　区：松之山地区
調査原因：国道353号改築事業
調査期間：平成27年３月27日～平成28年３月15日
事 業 費：5,000千円（新潟県が全額負担）
報 告 書：平成27年度刊行
担 当 者：石原正敏

②上屋敷・溝遺跡

地　　区：中里地区
調査原因：国道353号小原バイパス改築事業
調査期間：平成27年３月27日～平成28年３月28日
事 業 費：1,000千円（新潟県が全額負担）
報 告 書：平成27年度刊行
担 当 者：笠井洋祐

③干溝東遺跡ほか２遺跡

地　　区：中里地区
調査原因：国道353号小原バイパス改築事業
調査期間：平成27年３月27日～平成28年３月31日
事 業 費：8,500千円（新潟県が全額負担）
報 告 書：平成28年度刊行（予定）
担 当 者：笠井洋祐

④おざか清水遺跡

地　　区：中里地区
調査原因：国道353号小原バイパス改築事業
調査期間：平成27年３月27日～平成28年３月28日
事 業 費：14,000千円（新潟県が全額負担）
報 告 書：平成29年度刊行（予定）
担 当 者：笠井洋祐

⑵ 現年度分

①白羽毛遺跡

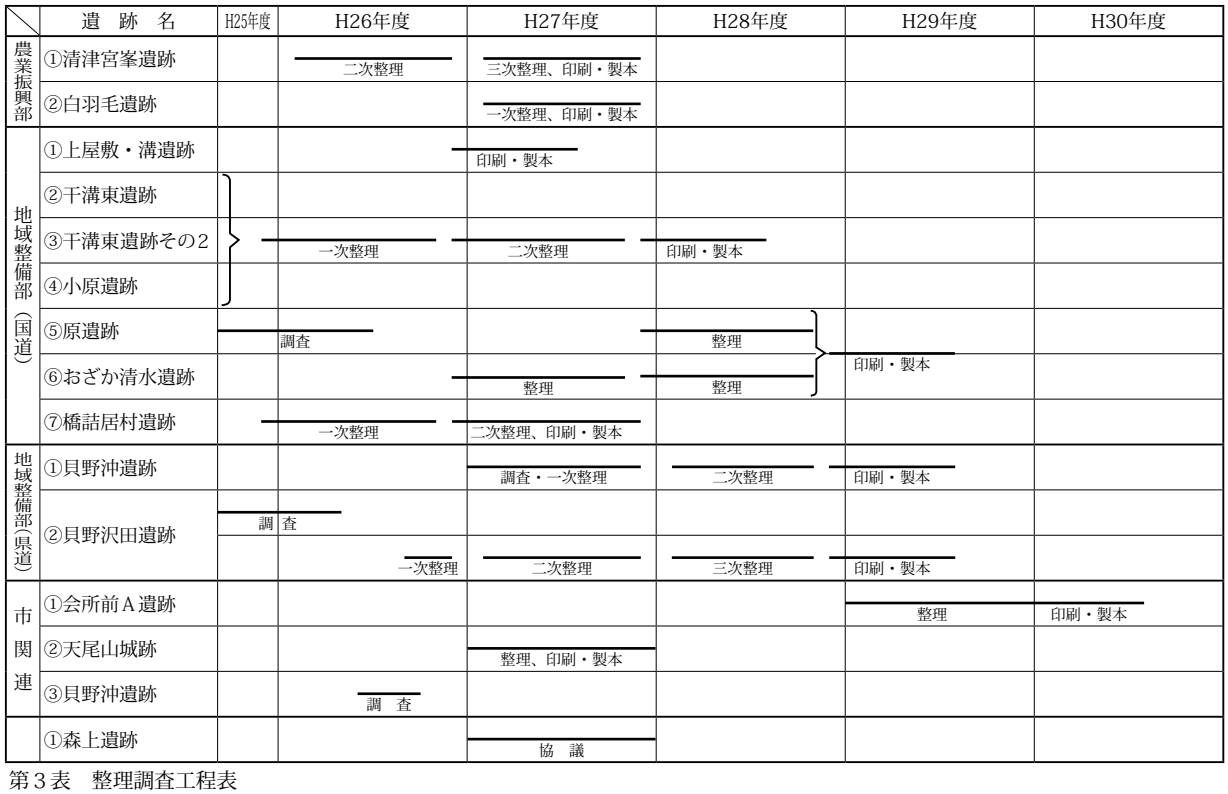
地　　区：中里地区

調査原因：県営中山間地域総合整備事業　清津里山地区
調査期間：平成27年６月４日～平成28年３月15日
事 業 費：3,600千円（新潟県負担分3,420千円、十日町市負担分180千円）
報 告 書：平成27年度刊行
担 当 者：石原正敏

②清津宮峯遺跡
地　　区：中里地区
調査原因：県営中山間地域総合整備事業　清津里山地区
調査期間：平成27年６月４日～平成28年３月15日
事 業 費：5,500千円（新潟県負担分5,225千円、十日町市負担分275千円）
報 告 書：平成27年度刊行
担 当 者：笠井洋祐

③貝野沢田遺跡
地　　区：中里地区
調査原因：主要地方道　小千谷十日町津南線改良事業
調査期間：平成27年４月16日～平成28年３月28日
事 業 費：10,000千円（新潟県が全額負担）
報 告 書：平成29年度刊行（予定）
担 当 者：笠井洋祐・石原正敏

④天尾山城跡
地　　区：中里地区
調査原因：消防デジタル無線中継基地局建設事業
調査期間：平成27年４月１日～平成28年３月31日
事 業 費：6,000千円（十日町広域事務組合が全額負担）
報 告 書：平成27年度刊行
担 当 者：笠井洋祐



第３表　整理調査工程表

Ⅳ．古文書等歴史資料整理事業

１．古文書整理作業

⑴ 古文書等歴史資料の収集・整理

市に寄贈または寄託された古文書等の歴史資料については、燻蒸後に情報館及び博物館の収蔵庫に保管し、順次整理作業を行っている。

今年度の整理状況は以下のとおりである。

①松之山・村山家文書（東京農業大学所蔵資料）　1,899点

②松之山・小野塚家文書　130点

③二ツ屋・俵山家文書　６点

⑵ 十日町市歴史資料目録の刊行

資料整理が完了した下記の資料群について、「十日町市歴史資料目録13」を刊行した。

①岡田隆生家資料　642点

②久保田文治家資料　90点

③岩田孫太郎家文書　13点

④中町国吉家文書　142点

⑤中町鼎家　240点

⑥福崎健太郎家文書　289点

⑦霜垣弘文家文書　544点

２．古文書整理ボランティアの活動

⑴ 写真整理チームによる整理作業

平成27年５月から平成28年３月までを第６期整理作業とし、山内写真館写真資料の整理を継続して行った。合計22回の活動で、のべ参加人数は約240名、約500枚の資料カードを作成した。

⑵ 長岡市資料整理ボランティアとの交流

①交流・研修会「中越大震災からの復興と山古志」

期日：平成27年９月14日㈪

会場：長岡市旧種苧原小学校、山古志復興交流館おらたる他

内容：11回目となる十日町市古文書整理ボランティアと長岡市資料整理ボランティアとの交流会。今回は、長岡市山古志地区で同地区に残された古文書をよみ、その整理状況を見学するなどした。

十日町市からの参加者：26名

②長岡市資料整理ボランティア活動報告会

期日：平成27年11月23日㈯

会場：長岡市立中央図書館

内容：長岡市資料整理ボランティアの発足10周年を記念して行われた活動報告会に参加。併せて「長岡市災害復興文庫展2015」を見学した。

十日町市からの参加者：８名

⑶「地域と共に考える文化財の防災減災Ⅱ」への参加

平成28年１月24日㈰に九州国立博物館（福岡県太宰府市）で行われた公開シンポジウムに参加し、古文書整理ボランティアの活動について事例報告を行った。

また、シンポジウム前日の23日㈯には、「みんなでまもる文化財みんなをまもるミュージアム」事業の第２回研修会において、写真資料整理体験ワークショップを行った。

参加者：高橋由美子、村山歩、山内景行（古文書整理ボランティア）

３．歴史民俗講演会

「屋根裏のタイムカプセル　～旧家に残されていたお札類にみるムラのくらし～」の開催

期日：平成27年12月12日㈯　午後２時～３時30分

会場：十日町情報館視聴覚ホール

講師：井上卓哉氏（富士市立博物館学芸員）

内容：市内西方、上野、津南町卯ノ木の個人宅の屋根裏などに残されていた寺社のお札類の調査結果とお札からみるムラのくらしについての講演。

お札は一般的には、新しいものを手に入れると古いものは処分することが多いが、処分せずに俵などに詰めて保存する事例がある。お札には「御祓大麻」「祈祷札」など様々な種類があり、その記載内容などから多くの情報を読み取ることができる。井上氏が調査した各事例のお札の特徴や保存状況から、当時の行動範囲、宗教者の移動の姿、地域の宗教者の実態など、妻有地方の信仰活動について考察された。

来場者数：44名

４．第７回山内写真館資料写真展「昭和の十日町　―春夏秋冬・町のにぎわい―」の開催

会期：平成28年３月15日㈫～３月27日㈰　13日間　（会期中無休）

会場：十日町情報館ギャラリー

内容：７回目となる山内写真館資料写真展を開催した。今回の展示テーマは「春夏秋冬・町のにぎわい」とし、昭和30、40年代の写真を中心に構成。「桜まつり」「諏訪祭」「運動会」「雪まつり」など、四季を楽しむ人でまちがにぎわうようすの写真80点を展示。期間中、１枚１枚の写真について「連想したこと」「思い出」「当時の様子」など感じたことをアンケート調査。地域映像アーカイブとしての写真資料構築のため、来場者への聞き取りによる情報収集も実施。

来場者数：約1,500名

アンケート回答者：303名

（村山 歩・中山 未沙樹）

Ⅴ．十日町市歴史文化基本構想策定事業

「歴史文化基本構想」は、地域の文化財をその周辺環境も含め総合的に保存・活用していくための基本構想であり、その策定は地域型の「日本遺産」申請の条件でもある。

本市においては、平成29年度末を目途に「十日町市歴史文化基本構想」の策定を行うこととした。

平成27年10月から文化財課に「歴史文化基本構想策定技術特別職員」（嘱託職員）を置き、事前把握として、文献（旧市町村史、既刊の文化財・郷土史に関する書籍など）の調査、統合した年表の作成と項目の分類、基礎的情報のデータベース化などを行った。

来年度以降は、文化財の総合的把握調査（現地調査）、策定委員会等の開催、シンポジウムの開催を予定している。

（村山 歩）

Ⅵ. その他

１．資料館・収蔵庫に関するデータ

文化財課では、市民の郷土に対する認識を深め、教育、学術及び文化の向上を図るため、松之山郷民俗資料館、笹山縄文館の維持管理及び公開を行っている。また、歴史、民俗及び考古に関する資料を収蔵するため、中里、高道山、川西、高倉の４つの文化財資料収蔵庫の維持管理を行っている。資料館、収蔵庫のそれぞれの概要は以下のとおりである。　（石原 正敏・南雲 勝巳）

⑴ 松之山郷民俗資料館

所 在 地：十日町市松之山湯山264番地
設置根拠：十日町市資料館条例
（平成17年４月１日　条例第129号）
敷地面積：1,057.00㎡
延床面積：305.97㎡
運用開始：昭和52年５月１日

⑵ 笹山縄文館

所 在 地：十日町市中条乙3081番地2
設置根拠：十日町市笹山縄文館条例
（平成23年３月17日　条例第11号）
敷地面積：894㎡
延床面積：458.71㎡
運用開始：平成23年４月１日

⑶ 中里文化財資料収蔵庫

所 在 地：十日町市本屋敷丁65番地1
設置根拠：十日町市文化財資料収蔵庫条例
（平成17年４月１日　条例第130号）
敷地面積：1,587.54㎡
延床面積：526.15㎡
運用開始：平成17年４月１日

⑷ 高道山文化財資料収蔵庫

所 在 地：十日町市白羽毛辰697番地
設置根拠：十日町市文化財資料収蔵庫条例
（平成17年４月１日　条例第130号）
敷地面積：2621㎡
延床面積：346㎡
運用開始：平成26年10月１日

⑸ 川西文化財資料収蔵庫

所 在 地：十日町市友重乙29番地1

設置根拠：十日町市文化財資料収蔵庫条例

（平成17年４月１日　条例第130号）

敷地面積：1,116.00㎡

延床面積：516.54㎡

運用開始：平成21年４月１日

⑹　高倉文化財資料収蔵庫

所 在 地：十日町市友重乙29番地1

設置根拠：十日町市文化財資料収蔵庫条例

（平成17年４月１日　条例第130号）

敷地面積：4,920.00㎡

延床面積：270.60㎡

運用開始：平成23年４月１日

◆参考資料

⑴　十日町市博物館

所 在 地：十日町市寅甲382番地1

設置根拠：十日町市博物館条例

（平成17年４月１日　条例第112号）

敷地面積：5,942.75㎡

延床面積：3,785.49㎡

運用開始：昭和54年４月27日

資　料

１．十日町市の指定文化財一覧

平成28年3月28日現在

［国宝］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
1	考古資料	新潟県笹山遺跡出土深鉢形土器　57点 （附 土器・土製品類・石器・石製品類・ベンガラ塊871点）		平11.6.7	西本町１	十日町市（博物館）	縄文時代

［国指定重要文化財］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
1	建造物	松苧神社本殿	1棟	昭53.5.31	犬伏	松苧神社	明応6年
2	建造物	星名家住宅	7棟	平3.5.31	上野甲	星名四郎	天保13年
3	有形民俗	越後縮の紡織用具及び関連資料	2,098点	昭61.3.31	西本町１	十日町市（博物館）	江戸～明治
4	有形民俗	十日町の積雪期用具	3,868点	平3.4.19	西本町１	十日町市（博物館）	江戸～昭和30年代
5	名勝・天然記念物	田代の七ッ釜		昭12.6.15	田代	十日町市・津南町	
6	名勝・天然記念物	清津峡		昭16.4.23	小出	十日町市・湯沢町	
7	特別天然記念物	カモシカ		昭30.2.15	地域指定なし		

［国登録有形文化財］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
1	建造物	西永寺本堂	1棟	平12.10.18	上野甲	西永寺	嘉永元年頃
2	建造物	西永寺経蔵	1棟	平12.10.18	上野甲	西永寺	嘉永元年頃
3	建造物	西永寺鐘楼	1棟	平12.10.18	上野甲	西永寺	嘉永元年頃
4	建造物	西永寺庫裏及び廊下	1棟	平12.10.18	上野甲		嘉永元年頃
5	建造物	六和亭（旧永徳寺本堂）	1棟	平12.10.18	上野甲		安政4年
6	建造物	星名家住宅雪穴	1基	平14.6.25	上野甲	星名四郎	江戸期
7	建造物	凌雲閣松之山ホテル本館	1棟	平17.7.12	天水越	凌雲閣松之山ホテル	昭和12年
8	建造物	第二藤巻医院本館	1棟	平22.9.10	上野甲		昭和9年
9	建造物	第二藤巻医院石垣	1基	平22.9.10	上野甲		昭和9年

［新潟県指定文化財］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
1	建造物	神宮寺観音堂・山門	2棟	平3.3.29	四日町	神宮寺	江戸期
2	絵画	山水図釧雲泉筆六曲屏風	1双	昭29.2.10	山本	関口芳央	江戸末期
3	彫刻	木造十一面千手観音立像	1躯	昭46.4.13	四日町	神宮寺	平安後期
4	彫刻	木造四天王立像（伝広目天・伝毘沙門天）	2躯	昭49.3.30	四日町	神宮寺	平安末期
5	考古資料	伊達八幡館跡出土品	281点	平20.3.25	西本町１	十日町市（博物館）	中世
6	考古資料	久保寺南遺跡出土品	309点	平22.3.23	西本町１	十日町市（博物館）	縄文草創期
7	有形民俗	越後縮幡	74旒	昭49.3.30 （追50.3.29）	吉田山谷ほか	吉田社 他6社 （博物館）	江戸～明治期
8	史跡	大井田城跡		昭53.3.31	中条	十日町市	南北朝期
9	天然記念物	赤谷十二社の大ケヤキ	1本	昭33.3.5	赤谷	赤谷十二社	幹囲10.1m
10	天然記念物	小貫諏訪社の大スギ	1本	昭53.3.31	小貫	諏訪神社	幹囲8.33m
11	天然記念物	角間のねじり杉	1本	昭60.3.29	角間	角間地区	
―	天然記念物	中尾の大杉	1本	昭33.3.5	中尾	中尾地区	平24.3.5 指定解除

［新潟県選定保存技術］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
―	選定保存技術	屋根葺（茅葺）		平12.3.24	十日町・太平	斎木春治・ 市川新一郎　他2名	神宮寺・ 松苧神社

［十日町市指定文化財］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
1	建造物	千手観音堂仁王門	1棟	昭54.6.23	友重	長徳寺	寛延2年
2	建造物	智泉寺山門	1棟	平6.3.23	昭和町3	智泉寺	江戸中期
3	建造物	観泉院山門	1棟	平7.3.24	土市	観泉院	江戸中期
4	建造物	旧室岡家住宅（十日町市まつだい郷土資料館）	1棟	平23.4.26	松代	十日町市	昭和10年頃
5	建造物	旧村山家主屋・表門	2棟	平28.3.28	松之山	（一財）大棟山美術博物館	
6	絵画	一遍上人絵詞伝	8巻	昭54.9.12	川原町	小林賢有	江戸中期
7	絵画	板絵	1対	平4.12.14	犬伏	松苧神社	明応3年
8	絵画	群馬図屏風 雲谷等顔筆 六曲一双	1双	平23.4.26	松之山	十日町市 （松之山小学校）	
9	彫刻	木造狛犬	2躯1対	昭45.8.7	犬伏	松苧神社	応永10年
10	彫刻	木造馬頭観音坐像	1躯	昭45.8.7	犬伏	白馬観音堂	応永10年
11	彫刻	銅造阿弥陀如来立像	1躯	平1.12.14	蒲生	中村栄作	鎌倉期
12	彫刻	木造聖観音坐像	1躯	平4.12.14	海老	海老区	慶長期

13	彫刻	銅造十三仏像	1躯	平4.12.14	松代	長命寺	桃山期
14	彫刻	鉄造聖観音立像	1躯	平3.2.1	松之山	陽広寺	鎌倉末～南北朝
15	彫刻	木造延命地蔵菩薩立像	1躯	平3.2.1	観音寺	観音寺	桃山期
16	彫刻	銅造地蔵菩薩立像	1躯	平3.2.1	天水越	天水越不動堂	永禄9年
17	彫刻	木造聖観音立像	1躯	平3.2.1	中尾	中尾観音堂	桃山～江戸前
18	彫刻	木造阿弥陀如来立像	1躯	平8.3.21	川原町	来迎寺	鎌倉後期
19	彫刻	木造聖観音立像	1躯	平13.3.22	新宮	竜王山講中	戦国期末
20	工芸品	短刀(備州兼光作)	1口	昭45.8.7	犬伏	松苧神社	戦国期
21	工芸品	軍配	1握	昭45.8.7	犬伏	松苧神社	戦国期
22	工芸品	雲板	1面	昭45.8.7	室野	洞泉寺	康正2年銘文 寛政2年再鋳
23	工芸品	越後縮裂見本帳	2冊	昭47.11.28	本町	蕪木孫右	江戸期
24	工芸品	神輿	1基	昭56.2.26	犬伏	犬伏区	安土桃山期
25	工芸品	十日町織物歴代標本帳	47冊	昭62.2.23 (追平1.2.16)	西本町1	十日町織物工業協同組合 (博物館)	明治25年～昭和13年 明治42年～昭和8年
26	工芸品	雲板	1面	平7.8.24	倉俣	東光寺	嘉吉元年 銘文に波多岐荘
27	工芸品	宮本茂十郎手織の透綾(絹縮)裂地	3点	平13.3.22	西本町1	十日町織物工業協同組合 (博物館)	江戸末期 金登屋「雛形帳」のうち
28	古文書	堀監物直政書状・松平忠輝家老衆定書	1幅	平3.2.1	松之山	村山芽久美	
29	古文書	松苧神領舟平一村売渡証文	1通	平6.12.15	松代	宮沢正翁	
30	古文書	松平忠輝宛行状	1通	平7.8.24	堀之内	南雲三代治	物在堀之内
31	古文書	田沢村天和検地帳 附：宝暦検地帳20冊、その他検地帳11冊	29冊	平7.8.24	西本町1	十日町市（博物館）	原本
32	古文書	太子堂村検地帳	4冊	平12.3.21	西本町1	若井基八郎(博物館)	中世～
33	考古資料	長徳寺板碑	1基	昭51.3.3	友重	長徳寺	応長元年
34	考古資料	鶴吉釈迦堂の自然石板碑	6基	昭51.3.3	鶴吉	鶴吉地区	貞和5年、正平9、15年
35	考古資料	山田観音堂跡の自然石板碑	4基	昭51.3.3	霜条	霜条地区	正平6年　他
36	考古資料	坪山神社の自然石板碑	1基	昭51.3.3	坪山	坪山地区	正平8年
37	考古資料	月見ヶ原公園の自然石板碑	1基	昭51.3.3	伊勢平治	長徳寺	南北朝期
38	考古資料	友重行者堂の自然石板碑	1基	昭51.3.3	友重	白山神社	正平14年
39	考古資料	北田如意庵の自然石板碑	3基	昭51.3.3	仁田	仁田地区	正平14年　他
40	考古資料	三領の自然石板碑	4基	昭51.3.3 昭60.5.28	三領	水品仁呉 水品仁呉、高橋一	南北朝期(2基) 南北朝期
41	考古資料	霜条の自然石板碑	2基	昭51.3.3 昭51.8.25	霜条	蔵品完三 丸山高夫	南北朝期
42	考古資料	鶴吉の自然石板碑	1基	昭51.3.3	鶴吉	田村清仁	正平8年
43	考古資料	中屋敷の自然石板碑	1基	昭51.3.3	中屋敷	山崎和雄	南北朝期
44	考古資料	野口の自然石板碑	1基	昭52.2.27	野口	村越勝	南北朝期
45	考古資料	元町の自然石板碑	2基	昭60.5.28	上野	押木栄二	南北朝期
46	考古資料	仁田の自然石板碑	3基	昭60.5.28	仁田	吉井正司、高橋セツ、小幡藤吉	南北朝期
47	考古資料	木落の自然石板碑	1基	昭60.5.28	木落	和久井富夫	南北朝期
48	考古資料	桐山の自然石板碑	2基	平1.12.14	桐山	十二神社	文和4.5年
49	考古資料	馬場上遺跡出土品	一括	平2.2.22	西本町1	十日町市（博物館）	古墳時代中期 ～平安時代
50	考古資料	笹山遺跡出土品(国指定分を除く)	一括	平2.2.22	西本町1	十日町市（博物館）	縄文時代～中世
51	考古資料	伊達八幡館跡出土品(県指定分を除く)	一括	平11.3.16	西本町1	十日町市（博物館）	中世
52	考古資料	幅上遺跡出土品	一括	平12.3.21	西本町1	十日町市（博物館）	縄文時代
53	考古資料	干溝遺跡出土隆起線文土器	1点	平24.3.22	西本町1	十日町市（博物館）	縄文時代
54	考古資料	中島遺跡出土の縄文土器	78点	平27.3.27	西本町1	十日町市（博物館）	縄文時代
55	考古資料	樽沢開田遺跡出土品	98点	平28.3.28	西本町1	十日町市（博物館）	縄文時代
56	歴史資料	松苧神社の俳句献額	1面	平1.12.14	犬伏	松苧神社	寛政10年
57	歴史資料	神宮寺観音堂の俳句献額	1面	平14.3.22	四日町	神宮寺	明和元年
58	歴史資料	諏訪神社の俳句献額	1面	平14.3.22	諏訪町	諏訪神社	安永7年
59	歴史資料	縮問屋加賀屋蕪木家資料	一括	平22.3.18	西本町1	蕪木元昭	江戸後期
60	風俗慣習	婿投げ		平3.2.1	湯本・天水越	湯本・天水越地区	
61	風俗慣習	スミぬり		平3.2.1	湯本	湯本地区	
62	風俗慣習	新水のドウラクジンとハネッケェーシ		平7.3.24	新水	新水地区	道楽神・羽根返し
63	風俗慣習	水沢の石場かち		平15.3.24	土市	水沢地区伝統芸能保存会	
64	民俗芸能	赤倉神楽		昭51.11.8	赤倉	赤倉神楽保存会	
65	民俗芸能	室野神楽		昭56.2.26	室野	室野神楽保存会	
66	民俗芸能	苧島神楽		昭56.2.26	苧島	苧島神楽保存会	
67	民俗芸能	田代神楽		昭57.4.1	田代	田代神楽保存会	
68	民俗芸能	中条大の坂		昭59.1.26	中条旭町	中条大の坂保存会	
69	民俗芸能	新保広大寺節		昭59.1.26	下条本町	新保広大寺節保存会	
70	民俗芸能	上川手歌舞伎		平11.7.21	上川手	上川手歌舞伎保存会	
71	民俗芸能	千手露香		平12.7.19	千手	千手露香保存会	
72	民俗芸能	野口神楽		平13.3.16	野口	野口伝統芸能保存会	
73	有形民俗	越後アンギン及び関係資料	一括	平11.3.16	西本町1	十日町市(博物館)	江戸～明治時代
74	史跡	犬伏城跡		昭45.8.7	犬伏	犬伏区	
75	史跡	蒲生城跡		昭45.8.7	蒲生	蒲生区	

76	史跡	室野城跡		昭45.8.7	室野	室野区	
77	史跡	四日町神宮寺境内地及び山林		昭47.11.28	四日町	神宮寺	江戸期
78	史跡	節黒城跡		昭50.2.26	新町新田	十日町市	室町期
79	史跡	大黒沢正平在銘梵字碑	1基	昭51.1.10	大黒沢	村山キノエ	南北朝期
80	史跡	鉢の石仏		昭53.1.28	鉢	鉢石仏保存会	江戸期　民間信仰地
81	史跡	笹山遺跡		平4.12.3	中条上町	岩田栄十郎　他	縄文～中世
82	史跡	羽川城跡		平10.3.25	麻畑	羽川城跡保存会	戦国期
83	名勝	積翠荘		昭55.4.11	吉田山谷	酒井うめ子	江戸期
84	名勝	岩見堂		平3.2.1	浦田	十日町市	
85	天然記念物	元町諏訪神社の親子スギ	2本	昭50.2.26	上野	元町諏訪神社	幹周　5.37m
86	天然記念物	海老の牛池		昭56.2.26	海老	海老区	
87	天然記念物	松代田沢十二社の大ケヤキ	1本	昭56.2.26	松代田沢	十二神社	幹周　7.03m
88	天然記念物	松代田沢十二社の大イチョウ	1本	昭56.2.26	松代田沢	十二神社	幹周　5.03m
89	天然記念物	長命寺の大イチョウ	1本	昭56.2.26	松代	長命寺	幹周　8.45m
90	天然記念物	寺田の大カエデ	1本	昭56.2.26	寺田	井上政身	幹周　2.66m
91	天然記念物	姿箭放神社の大ケヤキ	1本	昭63.7.20	姿	箭放神社	樹齢約560年 幹周5.43m
92	天然記念物	高靈神社社叢		平1.10.3	背戸	高靈神社	
93	天然記念物	ニッポンシロウリガイ化石	1塊	平1.12.14	松代	十日町市	
94	天然記念物	洞泉寺の大ケヤキ	1本	平1.12.14	室野	洞泉寺	幹周　6.90m
95	天然記念物	室野松苧神社の大スギ	1本	平4.12.14	室野	室野松苧神社	幹周　5.07m
96	天然記念物	小谷の大ケヤキ	1本	平3.2.1	小谷	小谷地区	幹周　6.50m
97	天然記念物	大荒戸の庚申夫婦スギ	2本	平3.2.1	大荒戸	大荒戸地区	幹周6.70m 5.10m
98	天然記念物	天水山麓のブナ原生林		平3.2.1	天水越	十日町市	50ha
99	天然記念物	安養寺松尾神社の大スギ	1本	平4.3.21	安養寺	安養寺地区	樹齢約500年 幹周7.99m
100	天然記念物	安養寺円通庵の三本スギ	2本	平4.3.21	安養寺	安養寺地区	西側から幹周6.18m 3.89m 平26.7.9落雷により1本消失
101	天然記念物	枯木又竜王社の三本スギ	3本	平6.3.23	枯木又	東西枯木又	西側から幹周4.43m 4.35m 6.00m
102	天然記念物	枯木又竜王池		平6.3.23	枯木又	東西枯木又	
103	天然記念物	渋海川河床の甌穴群		平9.3.11	松代田沢	新潟県	
104	天然記念物	藤沢熊野神社の二本スギ	2本	平9.4.28	藤沢	藤沢熊野神社奉賛会	左幹周5.36m 右4.93m
105	天然記念物	田戸十二社の二本スギ	2本	平9.4.28	田戸	田戸区長	左幹周4.84m 右4.67m
106	天然記念物	白倉のカスミザクラ	1本	平10.4.27	小白倉	十日町市	幹周3.84m
107	天然記念物	程島　下の行者の大ケヤキ	1本	平22.3.18	程島	南雲敏晴	幹周9.23m
108	天然記念物	葎沢十二社の大スギ	1本	平22.3.18	葎沢	十二社	幹周7.12m
109	天然記念物	重地の大池		平23.4.26	重地	重地地区	
110	天然記念物	太田島小牧社の大ケヤキ	1本	平24.3.22	太田島	小牧社	幹周6.75m
111	天然記念物	名ケ山の鶴沼池		平26.3.14	名ケ山	名ケ山生産森林組合	周囲約250m
―	天然記念物	入山のカスミザクラ	1本	平9.3.24	入山	山本丑松	平25.3.25 指定解除

［十日町市指定地域文化財］

番号	種　別	名　　称	員数	指定年月日	所在地	所有者・管理者	備　　考
1	地域文化財	松代城跡		昭45.8.7	松代	松代区	
2	地域文化財	蓬平城跡		昭45.8.7	蓬平	蓬平区	
3	地域文化財	千手観音堂仁王像	2躯	昭54.6.23	友重	長徳寺	江戸中期
4	地域文化財	鏡ヶ池		昭54.7.25	中尾	中尾地区	
5	地域文化財	標旗	1旒	昭55.4.11	六箇山谷	祇園寺	江戸初期
6	地域文化財	苧島の石地蔵	1躯	昭56.2.26	苧島	苧島区	昭和7年
7	地域文化財	洞泉寺の子育て地蔵	1躯	昭56.2.26	室野	洞泉寺	
8	地域文化財	道元禅師絵伝	双幅	昭56.2.26	千年	普門庵	嘉永7年
9	地域文化財	犬伏裸太鼓		昭56.2.26	犬伏	犬伏裸太鼓保存会	
10	地域文化財	木造不動明王立像	1躯	平1.12.14	室野	洞泉寺	戦国末左腕欠
11	地域文化財	神像（伝善財童子）	3躯	平1.12.14	桐山	十二神社	
12	地域文化財	釈迦涅槃図	1幅	平4.12.14	犬伏	犬伏区	
13	地域文化財	木造狛犬（黒倉十二神社）	2躯1対	平3.2.1	黒倉	黒倉十二神社	桃山
14	地域文化財	西之前遺跡出土品	1括	平3.2.1	松之山	市松之山公民館	縄文後、古・中
15	地域文化財	木造十王像	10躯	平3.2.1	藤倉	正法寺	室町後～江戸初
16	地域文化財	木造狛犬（天水越松苧神社）	2躯1対	平3.2.1	天水越	天水越松苧神社	桃山
17	地域文化財	上杉塚跡（管領塚）		平3.2.1	天水越	十日町市(松里小学校)	碑大正4年
18	地域文化財	苧島三十三観音像	25躯1括	平7.12.5	苧島	苧島区	
19	地域文化財	木造十王像	6躯	平7.12.5	儀明	儀明区	
20	地域文化財	桔梗原新田用水路絵図	1通	平16.10.18	上山	中里土地改良区	
21	地域文化財	奴奈川村道路元標	1基	平4.12.14	室野	室野区	大正8年
22	地域文化財	枯木又のカスミザクラ	1本	平6.3.23	枯木又	東西枯木又	
23	地域文化財	石像道しるべ	3基	平7.12.5	菅刈・蒲生	菅刈区・蒲生区	江戸期
24	地域文化財	越後アンギン製作技術		平11.3.16	西本町1	越後アンギン伝承会	
25	地域文化財	莇平のお葉付イチョウ	1本	平4.12.14	莇平	高橋宏至	
26	地域文化財	寺田の白フジ	1本	平4.12.14	寺田	井上功	

２．埋蔵文化財関係データ

	十日町地区	川西地区	中里地区	松代地区	松之山地区	計
平成17年４月現在	248	84	68	47	48	495
平成17年度新規登録		40		5	1	46
平成18年度新規登録	1		1			2
平成19年度新規登録			4			4
平成20年度新規登録		2	7			9
平成21年度新規登録			2			2
平成22年度新規登録	2		3			5
平成23年度新規登録	1		1			2
平成24年度新規登録	1		1			2
平成25年度新規登録						0
平成26年度新規登録						0
平成27年度新規登録						0
計	253	126	87	52	49	567

第５表　各地区の登録遺跡数の推移

	十日町地区	川西地区	中里地区	松代地区	松之山地区	計
遺物包含地・散布地	155	81	73	17	10	336
集落跡	27	0	7	0	0	34
城館跡	36	11	6	7	4	64
社寺跡	2	0	0	2	0	4
塚・経塚	32	12	1	25	34	104
板碑・石碑・石塔	1	22	0	1	1	25
計	253	126	87	52	49	567

第６表　登録遺跡の種別内訳

	十日町地区	川西地区	中里地区	松代地区	松之山地区	計
旧石器時代	4	1	7	0	0	12
縄文時代	148	76	71	16	9	320
弥生時代～古代	10	1	0	0	0	11
中世～近世	55	20	8	8	4	95
不明	36	28	1	28	36	129
計	253	126	87	52	49	567

※複合遺跡は主要時期のみをカウント

第７表　登録遺跡の時代別内訳

調査原因		本調査	確認	試掘	備考
道路	国道･県道･市道	26	2	23	貝野久保遺跡、真萩田遺跡（１～２次）、上屋敷遺跡（１～２次）、貝野大道下遺跡、貝野沖遺跡（１～２次）、溝遺跡、尾崎館跡、尾崎館跡隣接地、貝野沢田遺跡（１～５次）、干溝東遺跡（１～２次）、橋詰居村遺跡（１～３次）、小原遺跡（１～２次）、おざか清水遺跡（２～３次）、原遺跡（１～２次）他
	広域農道･林道ほか	0	2	5	貝野天池遺跡、坪野館跡
鉄道		0	0	0	
土地造成	県営圃場整備	4	0	31	梶花遺跡、樽沢開田遺跡、清津宮峯遺跡、白羽毛遺跡
	区画整理	0	0	2	
	土地改良	2	1	3	久保寺遺跡、下原田Ａ遺跡、下原田Ｂ遺跡、ぼうず田遺跡
	国営パイロット	0	0	0	
	ゴルフ場	0	0	0	
	リゾート開発	0	0	0	
	公園整備	0	0	3	
	土砂採取等	0	3	25	狐窪遺跡、田沢中道遺跡（１～２次）
	その他	2	3	4	上ノ山開墾地遺跡（確認、１～２次）、上ノ山遺跡、馬場上遺跡
建築	学校等	0	0	2	
	体育施設等	1	0	1	会所前Ａ遺跡（３次）
	公共施設等	1	2	5	会所前Ａ遺跡（２次）、枯木遺跡、天尾山城跡
	住宅･店舗･工場等	0	4	16	滝の坂遺跡、道下南遺跡、坪野館跡、田中カヤバ遺跡、一里塚遺跡
その他	耐震性貯水槽	0	0	7	
	携帯電話基地局	0	0	14	
	災害復旧	0	1	0	仏子田遺跡
鉄塔建設		0	1	0	山谷城跡
保存目的		0	7	0	田沢遺跡（２～８次）
学術調査		3	0	0	笹山遺跡（８～10次）
合計		38	22	128	

第８表　発掘調査の原因（平成17年度以降）

調査年度	発掘	試掘	遺　　跡　　名
昭和34(1959)	1		小坂遺跡(1次)
昭和35(1960)	1		小坂遺跡(2次)
昭和45(1970)	1		牛ヶ首遺跡
昭和48(1973)	2		城之古遺跡(1次、県教委)、川治百塚第６号塚(県教委)
昭和49(1974)	2	9	馬場上遺跡(1・2次)
昭和50(1975)	3	20	馬場上遺跡(3・4次)、北原八幡遺跡(県教委)
昭和51(1976)	1		つつじ原Ｂ遺跡(1次)
昭和55(1980)	3		坪野館跡、馬場上遺跡(5次)、笹山遺跡(1次)
昭和56(1981)	2		池之端遺跡、笹山遺跡(2次)
昭和57(1982)	7		笹山遺跡(3～5次)、笹山塚群、カタガリ遺跡、カタガリ城跡、小坂遺跡(3次)
昭和58(1983)	4	2	赤羽根遺跡(1・2次)、馬場館跡(1次)、馬場神社遺跡
昭和59(1984)	6	4	馬場上遺跡(6次)、江崎遺跡、笹山遺跡(6次)、馬場館跡(2次)、赤羽根遺跡(3次)、柳木田遺跡(1次)
昭和60(1985)	6	3	柳木田遺跡(2次)、川治上原A遺跡、川治上原B遺跡、笹山遺跡(7次)、水穴遺跡(1次)、南谷内館跡(1次)
昭和61(1986)	2	2	栗ノ木田遺跡、南谷内館跡(2次)
昭和62(1987)	3	5	伊達八幡館跡、寺大門北遺跡、寺大門南遺跡
昭和63(1988)	4	10	河原田遺跡(1次)、社畑遺跡、狢原遺跡、朴ノ木清水B遺跡
平成元(1989)	8	17	朴ノ木清水A遺跡、つつじ原A遺跡、つつじ原B遺跡(2次)、大清水遺跡、中段遺跡、天池A遺跡、天池B遺跡、野首遺跡(1次)
平成２(1990)	4	11	鐙坂二ツ塚、狐塚遺跡、水沢館跡(1次)
平成３(1991)	6	20	横割遺跡、大新田遺跡、牛塚遺跡、椿池遺跡、河原田遺跡(2次)、牧脇遺跡
平成４(1992)	7	12	道下遺跡、宮ノ上A遺跡、宮ノ上B遺跡、水穴遺跡(2次)、延命寺遺跡、大井久保遺跡、ぼんのう遺跡(1次)
平成５(1993)	7	9	高島南原A遺跡、高島南原B遺跡、カウカ平A遺跡、カウカ平B遺跡、ぼんのう遺跡(2次)、珠川A遺跡(1次)、珠川B遺跡
平成６(1994)	6	10	珠川A遺跡(2次)、大沢遺跡、上塚原B遺跡、中道遺跡、思川遺跡、城之古遺跡(2次)
平成７(1995)	8	7	城之古遺跡(3次)、上梨子A遺跡、上梨子B遺跡、ぼんのう南遺跡、上組A遺跡、上組B遺跡、戸屋遺跡(1次)、野首遺跡(2次)
平成８(1996)	12	9	野首遺跡(3次)、戸屋遺跡(2次)、岡山遺跡、アミダ屋敷A遺跡、谷内田遺跡、島A遺跡、島B遺跡、白井田A遺跡、白井田B遺跡、なんぜん萱場遺跡(1次)、やせ舟遺跡(1・2次)
平成９(1997)	10	2	やせ舟遺跡(3次)、春山遺跡、寿久保遺跡、十二沖A遺跡、十二沖B遺跡、中曽根A遺跡、原田A遺跡、原田B遺跡、つつじ原Ｃ遺跡、なんぜん萱場遺跡(2次)
平成10(1998)	3	11	谷地A遺跡(1次)、中新田B遺跡(1次)、廿日城東遺跡(1次)
平成11(1999)	6	4	谷地A遺跡(2次)、中新田A遺跡、中新田B遺跡(2次)、廿日城東遺跡(2次)、下梨子遺跡(1次)、泥木遺跡
平成12(2000)	5	6	道端A遺跡、道端B遺跡、道下南遺跡、馬場上遺跡(7次)、上塚原A遺跡
平成13(2001)	3	4	狐城跡(1次)、水沢館跡(2次)、桃山遺跡
平成14(2002)	4	10	水沢館跡(3次)、狐城跡(2次)、宮栗北遺跡、馬場上遺跡(8次)
平成15(2003)	4	3	江道A遺跡、大道下遺跡、狐城跡(3次)、中林Ｉ遺跡
平成16(2004)	3	5	江道B遺跡、江道C遺跡、下梨子遺跡(2次)
平成17(2005)	4	10	会所前Ａ遺跡(2次)、上ノ山開墾地遺跡(1次)、上ノ山遺跡
平成18(2006)	2	8	上ノ山開墾地遺跡(2次)、尾崎館跡
平成19(2007)	4	14	梶花遺跡、貝野久保遺跡、真萩田遺跡
平成20(2008)	6	16	貝野大道下遺跡、真萩田遺跡(2次)、上屋敷遺跡
平成21(2009)	9	14	樽沢開田遺跡、貝野沖遺跡、上屋敷遺跡(2次)、溝遺跡、久保寺遺跡、道下南遺跡、田沢中道遺跡、坪野館跡、田沢遺跡(2次)
平成22(2010)	5	17	清津宮峯遺跡、貝野沢田遺跡、干溝東遺跡、橋詰居村遺跡、田沢遺跡(3次)
平成23(2011)	7	11	干溝東遺跡、小原遺跡、白羽毛遺跡、下原田A遺跡、下原田B遺跡、貝野沢田遺跡、田沢遺跡(4次)
平成24(2012)	6	15	小原遺跡(2次)、会所前Ａ遺跡(3次)、おざか清水遺跡(2次)、貝野沢田遺跡(3次)、橋詰居村遺跡、笹山遺跡(9次)、田沢遺跡(5次)
平成25(2013)	6	14	おざか清水遺跡(3次)、橋詰居村遺跡(2次)、天尾山城跡、貝野沢田遺跡(4次)、原遺跡、笹山遺跡(10次)、田沢遺跡(6次)
平成26(2014)	5	14	橋詰居村遺跡(３次)、貝野沢田遺跡(５次)、原遺跡(２次)、貝野沖遺跡(２次)、田沢遺跡(７次)
平成27(2015)	5	13	貝野沖遺跡(３次)、一里塚遺跡、山谷城跡、馬場上遺跡、田沢遺跡(８次)
小　　計	203	341	

調査年度	発掘	試掘	遺　　跡　　名
昭和34(1959)	1		泉竜寺遺跡
昭和40(1965)	1		中林遺跡
昭和43(1968)	1		田沢遺跡
昭和48(1973)	1		森上遺跡
昭和54(1979)	1		壬遺跡(1次)
昭和55(1980)	1		壬遺跡(2次)
昭和56(1981)	1		壬遺跡(3次)
昭和57(1982)	1		壬遺跡(4次)
昭和60(1985)	1	1	鷹之巣遺跡
昭和61(1986)	1		壬遺跡(5次)
昭和63(1988)	1		布場遺跡(1次)
平成元(1989)	1		通り山遺跡
平成２(1990)	1	2	一里塚遺跡
平成３(1991)	2	1	壬遺跡(6次)、干溝遺跡
平成４(1992)	2	1	小丸山遺跡、おざか清水遺跡
平成５(1993)	1		御屋敷遺跡
平成８(1996)		2	桂遺跡
平成９(1997)		7	
平成10(1998)		2	
平成11(1999)	1	2	久保寺南遺跡
平成12(2000)	1	4	家ノ上遺跡
平成13(2001)	4	7	貝野遺跡、中島遺跡(1次)、内後遺跡(1次)、布場遺跡(2次)
平成14(2002)	8	5	内後遺跡(2次)、中島遺跡(2次)、中田Ｂ遺跡、中田Ｄ遺跡、堂ノ上遺跡(1次)、宮中家ノ中遺跡、原屋敷遺跡、会所前遺跡
平成15(2003)	3	6	土橋遺跡、内後遺跡(3次)、堂ノ上遺跡(2次)
平成16(2004)	2	4	会所前Ａ遺跡(1次)、干溝南遺跡
小　　計	37	44	

調査年度	発掘	試掘	遺　　跡　　名
平成９(1997)	1		向原Ⅱ遺跡(確認)
平成10(1998)	1		向原Ⅱ遺跡(1次)
平成11(1999)	1		向原Ⅱ遺跡(2次)
小　　計	3		

第９表　発掘調査一覧（上段：旧十日町市・新十日町市、中段：旧中里村、下段：旧松代町）

年　度	試掘調査	確認調査	本調査	調査面積	事業費	調　査　遺　跡
平成10年度	10件	1件		約900㎡	2,000千円	谷地Ａ遺跡ほか
平成11年度	3件	1件		約350㎡	1,000千円	下梨子遺跡ほか
平成12年度	4件	2件		約680㎡	1,200千円	馬場上遺跡、上塚原Ａ遺跡ほか
平成13年度	2件	2件		約620㎡	4,000千円	狐城跡、水沢館跡ほか
平成14年度	7件	3件	1件	約1,800㎡	6,000千円	宮栗北遺跡、狐城跡、馬場上遺跡、水沢館跡ほか
平成15年度	3件	3件		約1,510㎡	4,200千円	大道下遺跡、中林Ⅰ遺跡、狐城跡ほか
平成16年度	3件	5件		237㎡	3,800千円	宮栗北遺跡隣接地、下梨子遺跡、上ノ山開墾地遺跡隣接地ほか
平成17年度	10件	4件		1,156㎡	5,266千円	会所前Ａ遺跡、上ノ山開墾地遺跡、上ノ山遺跡、尾崎館跡隣接地ほか
平成18年度	8件		1件	555㎡	7,000千円	尾崎館跡、梶花遺跡、真萩田遺跡、貝野久保遺跡ほか
平成19年度	13件	1件		約1,348㎡	4,320千円	田中山の根遺跡、上屋敷遺跡、貝野大道下遺跡、狐窪遺跡ほか
平成20年度	16件	3件		約1,858㎡	3,800千円	田沢中道遺跡、田沢谷上遺跡、滝の坂遺跡、貝野天池遺跡、坪野館跡、貝野沖遺跡、樽沢開田遺跡ほか
平成21年度	15件	4件		約740㎡	3,200千円	溝遺跡、清津宮峯遺跡、久保寺遺跡、道下南遺跡、田沢中道、坪野館跡ほか
平成22年度	17件	1件		732㎡	3,000千円	橋詰居村遺跡、干溝東遺跡、貝野沢田遺跡、下原田Ａ遺跡、下原田Ｂ遺跡ほか
平成23年度	10件			359㎡	1,200千円	小原遺跡ほか
平成24年度	15件			708.5㎡	3,000千円	田中カヤバ遺跡、仏子田遺跡、枯木遺跡、ぼうず田遺跡、会所前Ａ遺跡ほか
平成25年度	14件			約240㎡	3,000千円	貝野沖遺跡、天尾山遺跡、枯木遺跡ほか
平成26年度	14件			約300㎡	3,000千円	貝野沖遺跡、枯木遺跡ほか
平成27年度	13件	3件		292㎡	3,000千円	一里塚遺跡、山谷城跡、馬場上遺跡ほか
（平均）	9.8件	1.8件	0.1件	約799.2㎡	3,443.7千円	

第10表　文化財保存事業費補助金関係事業の推移（平成10～27年度）　※平成16年度以前は旧十日町市

３．文化財関係者名簿

氏　名	担　当　分　野	備　考
武田　正史	文化財一般、記念物（史跡）、有形文化財（歴史資料）	H.12.6.12～
庭野　政義	有形文化財（絵画、工芸品）	H.12.6.12～
宮沢　孝美	有形文化財（建造物）	H.14.6.12～
竹内　俊道	文化財一般、無形文化財（民俗）、有形文化財（歴史資料）	H.25.4.1～
井上　信夫	記念物（動物、植物）	H.14.6.12～
川村　知行	仏教美術	H.17.4.1～
星名　寔	文化財一般・川西	H.17.4.1～
山本　善平	文化財一般、古文書・松代	H.24.4.1～
相沢　一郎	文化財一般・松之山	H.25.4.1～
村山　詔平	文化財一般・中里	H.19.4.1～

第11表　十日町市文化財保護審議会委員名簿

氏　名	担　当　地　域	備　考
丸山　克巳	十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町	H.17.4.1～H.19.3.31
角山　誠一	十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町	H.19.4.1～H.23.3.31
清水　迪男	十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町	H.23.4.1～H.25.3.31
樋口　信一	十日町市（旧十日町市、旧中里村）、津南町	H.25.4.1～
佐藤　定行	十日町市（旧松代町、旧松之山町、旧川西町）、柏崎市（旧高柳町）	H.17.4.1～H.22.3.31
柳　裕	十日町市（旧松代町、旧松之山町、旧川西町）、柏崎市（旧高柳町）	H.22.4.1～H.27.3.31
富澤　政和	十日町市（旧松代町、旧松之山町、旧川西町）、柏崎市（旧高柳町）	H.27.4.1～

第12表　新潟県文化財保護指導委員名簿（平成17年度以降）

■文化財課・博物館職員（平成27年度）

文化財課長	佐野　誠市	臨時職員	角山　誠一
課長補佐（学芸員）	石原　正敏	臨時職員	阿部　智美
埋蔵文化財係長（学芸員）	菅沼　　亘	臨時職員	田村　　薫
文化財保護係長	南雲　勝巳	臨時職員	引間　佳子
主査	矢口ヨネ子	臨時職員	阿部美記子
主査	村山　　歩	臨時職員	滝沢亜矢羽
主査	大滝　孝子	臨時職員（育休代替、～9月）	近　　春奈
主査（学芸員）	笠井　洋祐	補助員	樋口　信一
主査（学芸員）	阿部　　敬	補助員	上野　洋子
主査（兼務）	高橋由美子	補助員	水落よね子
主事	田村　典子	補助員	高橋　真弓
嘱託職員（調査研究員）	宮内　信雄	補助員	冨澤　孝之
嘱託職員（10月～）	佐野　芳隆	補助員	村山　和子
臨時職員（事務支援員）	中山未沙樹	補助員（10月～）	近　　春奈

十日町市教育委員会　**文化財課年報 17**

発行日／平成28年(2016) 3 月31日
編集・発行／十日町市教育委員会
文化財課

〒948-0072　新潟県十日町市西本町 1 丁目
十日町市博物館 内
十日町市教育委員会文化財課
TEL (025) 757-5531
FAX (025) 757-6998

印刷／㈱ 滝 沢 印 刷